

平成24年度全国学力・学習状況調査

理科：主として活用の分析

呉市立昭和西小学校

<成果>

- サクラの様子や開花の時期に関する問題など、実際の生活に即した問題についての正答率が高い。(平均正答率 76.5%)

<課題>

- 平均正答率が全国平均・広島県平均に至っていない。
(平均正答率 59.7%)
- 水に溶けている物の様子について、実験結果を基に自分の考えを改善して、その理由を記述する問題(平均正答率54.7%)植物の受粉と結実の関係を調べる実験について、結果を基に方法を改善して、その理由を記述する問題(平均正答率32.3%)など、科学的な言葉や概念を使用して考えたり説明したりすることに課題が見られる。
- 天気の様子と気温の変化との関係についてデータを基に分析して、その理由を記述する問題(平均正答率17.1%)など、観察実験の結果を整理し、考察することに課題がある。

<これからの全校での取組>

①理科の授業での観察・実験を重視した指導

観察・実験の前に自分の考えをはっきりとさせ(予想・仮説)、観察・実験の後の集団学習において他者の考えとの共有化を図りながら、科学的な見方や考え方を定着させていく。

②他教科と関連させての指導

実験結果を分析して、全体の傾向や共通性を捉えて考察するために、算数科の学習と関連させ、実験結果を表やグラフなどに整理して傾向を捉えやすく分析できるよう指導していくなど、他教科との関連を深めながら指導していく。